

生け垣づくりのポイントを

— 石崎園長さんから —

南砺植物園で、石崎力園長から約一時間「生け垣について」の講話を聞き、30分余り、植物園のまわりを歩き、造られている生け垣を見ながら、その良否・手入れのポイントを聞いた。

講話の要旨

- ・ 植物園の生け垣の樹種——12種入れて造っているが、地元の山にある樹種は極めて少ない（ネズミモチのみ）。生け垣に利用されている樹種はこの他に30種類ほどである。
- ・ 生け垣樹種の条件
 - ① 植える人の思い、考えによって選ぶ
 - ② 生け垣は目隠しであり、飾りだ。
 - ③ 条件——常緑樹である。強い剪定に耐える。葉色が美しい。病虫害に強い。
- ・ 生け垣の利点
美しく安全。樹種によっては花が咲く。新緑、紅葉の変化がある。
- ・ 生け垣の種類
 - ① 並列垣
 - ② 上下の二段垣
 - ③ 混ぜ垣
 - ④ 高垣（防風）



植物園にて石崎園長さんより説明を聞く

質問に応じて

- ① カイガラムシの防除は。
 - ・ カルホスがよい
 - ・ 防除時期 5～7月に3回カルホス、又はスミチオンを散布（カイガラムシは（初めの頃）風で動く。かたいカラになる前の防除策）1～2月石灰硫黄剤を散布。
- ② つきやすい害虫
 - ・ ツバキ・サザンカ——チャドクガ
 - ・ イヌツゲ——クロネハイイロハマキ（葉をつぶる）
 - ・ サングジュ——モンクキバチ
 - ・ カナメモチ——褐斑病（トップジン・ベンレートが効く）、ごま色斑点病
- ③ モチノキはオス、メスがあるか。——ある。

現地にある生け垣を見ながらの指導。

- ・ ウバメガシ——細かく植えないこと。80cm間隔。
- ・ ネズミモチ——対生
- ・ シノブヒバ——刈り込みが必要
- ・ ツツジ——花が終わってすぐに刈り込む。ソシヤクコウグンバイムシ（ダイジストンを春先にまく）
- ・ ヒイラギモクセイ——刈り込むと花がつかない
- ・ ムクゲ——今年、のびた枝に花がつく
- ・ サザンカ——春植える。南西面植えはいたむ。

約一時間半、室内研修とあわせ、炎天下の現地に出ての実際にふれながらご指導いただく。石崎園長さんは、物事をズバリしかも端的にポイントを説明され、一同よい刺激と参考をいただいた。

今度の例会は、久しぶりに参加したという方もあり、活気のある集いになった。また、感想などを聞かせてください。11時40分現地で解散した。

**** 中島家（チューリップ公園）の敷地に****

アテ苗3本を7/8日に植えた。苗は、会員の武部義昭さんがつくられたもので寄贈いただいた。カイニョの樹種として適当な木である。